

輪島市門前町にて行うワイン用ブドウの栽培及びこだわりワインの醸造・販売事業

- ◆ 平成25年度のワイン用ブドウ栽培面積は125a。
- ◆ 同年の栽培品種はソーヴィニヨンブラン、メルロー、セミヨン、シャルドネ、カベルネソーヴィニヨンの5種類。

【総合化事業の目標】

- ◆ 本来の土地の可能性を最大限に活かす「ワイン用ブドウの栽培」そして、この土地からできたブドウを「醸造」することにより、地域の特色を活かしたワイナリー空間(ブドウ栽培からワイン醸造に関する空間)を造り、地域の活性化を目指す。

【総合化事業の具体的な内容】

- ◆ 自社産ブドウを活用したこだわりワインを醸造し、地元の農作物や魚介類を使ったこの地域ならではの個性ある食材をベースにしたワインに合う料理を提供するレストランを建設する。
- ◆ ブドウ畑の横でハーブを栽培し、ハーブ苗、ハーブティ及び食用ハーブを販売するほか、レストランで食材等として利用する。
- ◆ ワインのPRと弊社への理解を深めるため、ワインとフレンチを楽しむ「マリアージュ会」を年に2～3回開催するとともに、「ブドウの樹の会員」を増加させ、ワインの安定的な売上げにつなげる。

認定日：平成25年11月29日

